

★★★★★
推しルポ

ガンバ大関!!



今回のガンバ大関は、東区在住で演劇を通して地域活性にチャレンジしている本家寛寿(ほんけのりひさ)・泰子(やすこ)ご夫妻です。一昨年に寛寿さんの生まれ故郷の大関に移住され、活動拠点を東京から福井に移されています。

Q.お二人が東京から大関に移住して2年が経ったようですが、ここ大関での暮らしはどうか。

A.【寛寿さん】 高校卒業以来30年離れていた地元での暮らしなので、浦島太郎状態です。今は東区の農業生産組織に仲間入りをし、その他アルバイトをしながら、二人で演劇を続けています。

【泰子さん】 大阪生まれでマンション暮らしだったので、のどかな一軒家暮らしが新鮮です。地域とのつながりもすごく感じています。

Q.大関に戻ってきたきっかけは。

A. コロナ禍で「あと何回親と会えるのだろうか」と考えるようになったこと、8年前の大関での公演が心に強く残っており、経験を積んだ今、演劇で何か出来るのではないかと思ったからです。

Q.東京ではどのような活動をされていたのですか。

A. 韓国人主宰の劇団「世 am l」に所属し、東京や福岡、韓国での公演や、日韓交流事業に携わっていま

した。二人の出逢いは、この劇団です。

Q.現在はどのような活動をされているのですか。

A. 高校演劇の指導や俳優ワークショップ、坂井市とコラボでの仕事など、また「本家劇場」というユニットで公演活動をしています。大関コミセンでは毎週木曜日「みんなのケイコバ!!」という名前で稽古していますので、興味のある方は覗きにきてくださいな。

**Q.今後も大関のまちづくりに深く関わって欲しいと
思っているのですが。**

A. 演劇は人間形成やコミュニケーション能力向上にとっても良いと言われています。小学生の子ども教室や中学生の部活動に関われたらと思っています。そして地域を巻き込んだ「大関演劇部」を立ち上げてみたいですね。

Q.最後に大関の好きな所を教えてください。

A. 地元に戻ってきてあらためて感動したのが、東の山々から昇ってくる朝日、西の彼方に沈んでいく夕日を日々ながめながら一日を過ごせるということです。東京での生活では絶対に味わえない贅沢です。やっぱりいいなあ大関!!



編集後記

9月21日の大関まつりには、多くの人にご参加いただきありがとうございました。2回目の今年も大盛況で「小さな地区でこの賑やかな祭りはすごい!」と地区外の方からお褒めの言葉も。皆さんと一緒に、地区のシンボルとなるイベントに育てていきたいですね。

大関を盛り上げてくれる
仲間を募集します!

大関が大好き! 大関をもっと
よくしたい! まちづくりに
興味がある方、ぜひ一緒に
活動しましょう。



どすこい大関 ~大関をもっと面白く~

編集・発行
大関まちづくり協議会 広報委員会
大関コミュニティセンター内 坂井市坂井町東12-5-1 TEL.(0776)72-1957 FAX(0776)72-1935



大関をもっと面白く

どすこい大関

2025年11月号
Vol.34

大関まちづくり協議会・大関コミュニティセンター



CONTENTS

- 大関まつり (2)
- 大関まちづくり協議会総会 (5)
- 大関&勝山ゴミ探検交流事業 (6)
- 大関えがお朝市
第2回避難所開設訓練
- コミセン講座 (7)
- 放課後子ども教室
- ガンバ大関 (8)
- 編集後記

LINE 公式アカウント

050wwwps 検索



Instagram

大関コミュニティセンター 検索



大関まち協メールアドレス
ohzeki-p@mx3.fctv.ne.jp

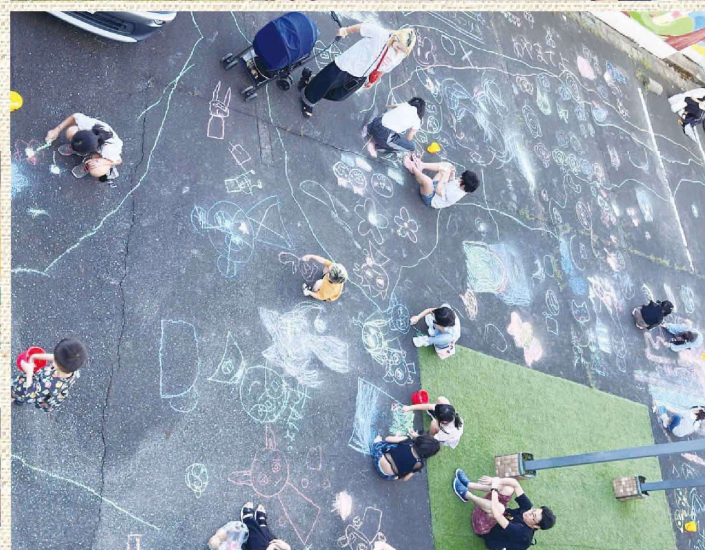
大関コミセンメールアドレス
ohzeki-cc@city.fukui-sakai.lg.jp

大 関 ま つ り 開 催 ! 「あ つ い」

9月21日(日)

- 『暑い』… 開催準備中の一降りに荒天を恐怖するも、残暑の太陽が一蹴、暑い一日となりました。厳しい紫外線にさらされ赤く日焼けした皆さん。痛くなかったですか？
- 『厚い』… 老若男女が会場を埋め尽くし、一見さん・仲良しグループ・一家総出も和気あいあい。グループ・サークル・世代間の絆や情が厚かった。
- 『熱い』… “笑顔”の対価を得るために、焼き場もステージも各ブースも踊り場も、最後の抽選会まで住民の皆さんと共にスタッフも熱くなりました。また、多彩なトリックを披露した体験コーナーのBMXには好奇心の熱視線。

関わった全ての皆さん。お疲れ様とありがとう。



大関まつり 参加者の声 VOICE

PTA会長 伊藤祐一さん

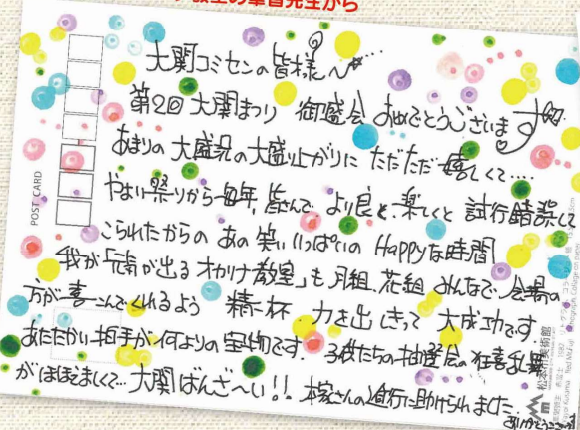
今回PTA役員として参加した大関まつり。他団体の皆さんと、「来てくれた地域の方に喜んでもらえるためのまつりにしたい」という思いでいました。縁日、露店、ステージイベント等1日通して「笑顔」でいっぱいのもつりになったと感じています。また来年も大関まつりに来たいと思ってくれるようなまつりになっていれは幸いです。



スマイルネットワークさかい 虎尾健司さん

福祉事業所として地域のお祭りに参加し、ピザの販売をさせていただきました。地域の方との交流や福井県立大学の学生と交流もあり、世代を超えた繋がりを感ずる楽しい時間になりました。利用者さんとても貴重な経験になり改めて地域交流の大切さを実感しました。

元気になるオカリナ教室の華音先生から



子ども食堂代表 虎尾正子さん

3年前、祭りの企画書予算書が推進委員会に上がってきたときは半信半疑でこのような事現実できるかなと心配でした。今年は最後迄会場にいまして本当に感動しました。住民の方の笑顔、外国人、スタッフの一生懸命さ素晴らしいかったです。



福井県立大学の学生さん

県大生はカフェ運営やスタンプラリー企画などを通じて、大関まつりに積極的に参加いただきました。子どもから高齢者まで多世代が関わり、笑顔と交流に満ちた温かい雰囲気に感動したという声が多く寄せられました。特に大関音頭では、世代を超えた一体感を感じられた。「つながり」の大切さを実感した。



FBCFI(海外のバンドの皆さん)

ありがとうございます。とても楽しかったです。毎年やるのですか？来年も参加したいです。よろしくお願いします。

OZEKI NEWS

第18回大関まちづくり協議会総会開催

第18回大関まちづくり協議会総会が4月25日(金)に開催されました。まず令和6年度の事業報告・収支決算報告の承認を受けた後、令和7年度の事業計画・収支予算も承認され、新年度のスタートを切ることができました。



通学路の清掃活動で安心安全



子どもたちの意見からまちづくりプランを策定



子どもたちと一緒にゴミ探検！



大関えがお朝市はいつも大盛況！



イルミネーションで明るい大関に



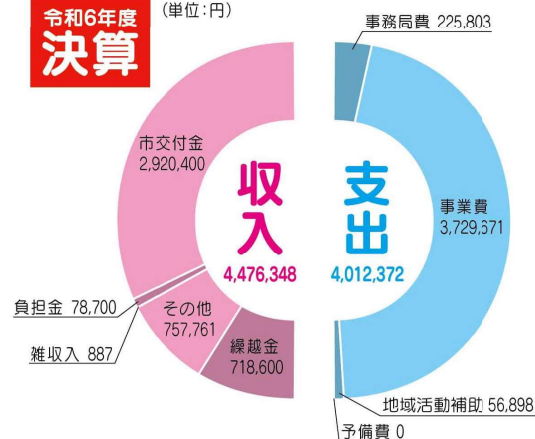
大関小学校のもちつきは地元産のもち米で



放課後子ども教室ではサンタさんも登場！

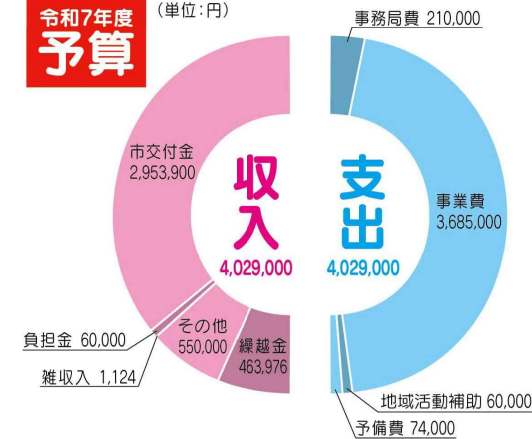
令和6年度 決算

(単位:円)



令和7年度 予算

(単位:円)





OZEKI NEWS



上流河川のゴミも調べてみました

大関クリーン隊は過去5年間、子どもたちと大関地区のゴミ捨ての現場を調査。2年前には九頭竜川河口部も歩いて調査してきました。ゴミが上流からも流れていることを知った子どもたちが上流河川も調べてみようとして8月24日(日)勝山市村岡地区の子どもたちと交流して調べてみました。村岡地区の地元の方も驚くほどのゴミが河川敷にあることもわかりましたが、下流のごみは上流のごみばかりでないことや上流と下流の環境の違いなども学びあうことができました。



えがお一杯の朝市大盛況

7月13日(日)恒例の「大関えがお朝市」が盛大に開催されました。子どもたちが育てた「大関子ども農園」のナス、キュウリ、トマトも販売され大好評でした。売り子となった子どもたちは「おいしいよ～、安いよ～」と元気に声をかけながらお客さんと笑顔を交わしていました。農家さんからは、玉ねぎ、ジャガイモをはじめルッコラ、コールラビ、サンチュといった珍しい野菜も出品され、地域の方も買い物を楽しんだ笑顔の一日となりました。

第2回避難所開設訓練

9月28日、坂井市防災訓練の一環として小学校体育館・運動場を使って行われました。これは被害を受けた人や自宅での生活が困難になった人などを収容する訓練ですが、参加者で意見を交わしながらよりスムーズな避難所開設を目指す場でもあります。小学校裏の防災倉庫を見学した後、本部・受付/掲示・一般居住区・安静専用居住区・屋外レイアウトの5グループに分かれ活動しました。災害時には落ち着いて行動できるかどうかの不安はありますが、こうした訓練を続けきちんとした行動マニュアルをつくるのが大事だと思いました。



・コミセン講座



元気アップ体操

月に2回(全20回)開催中で、人気のある健康体操です。講師の渡辺先生の明るいかけ声で、受講者のみなさんも生きいきとされ、楽しく参加されています。心も体もリフレッシュされているようです。



楽しく声を磨こう「ハッピーボイス」

今年度初めて開催となった、ハッピーボイス。6月～9月に全4回開催し、受付開始から人気の講座となりました。声の出し方・のどの筋トレなどを学び、講師の中西先生からの課題を素直に続け、声や表情が明るくなった方もいらっしゃいました。声が明るくなると自然と笑顔になる受講生の方を見て、こちらまで嬉しくなりました。

・放課後子ども教室



チョークで絵を描こう

6月5日(木)約2年ぶりのチョークアート。最初は「なに描こう?」と悩んでいた子も、描き始めるというんな発想があり、子どもたち同士で連想し、大阪万博のミャクミャクや大阪駅までの線路を描いていました。他にもキャラクターやお花、くだもの、〇×ゲーム、絵しりとりなど、地面いっぱいには描いていました。

チャレンジ・ザ・ゲーム

8月8日(金)今回は、おおぜき青空クラブのメンバーの方にもご協力いただき、経験のないテーブルゲームや定番の輪投げをして楽しみました。終始和やかな雰囲気でも盛り上がっていました。地域の方との交流もでき、子どもたちも楽しんでいました。



大関音頭をおどろう

9月16日(火)大関まつりを迎えるにあたり、伝統の大関音頭を保育園児にも伝えようと、地域の方の協力を得て大関保育園のペンギン組さん(年長)に教えました。大関まつりでは、かわいく踊る園児の姿がありました。

